

【説明資料(提出ファイル)】 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的, 利用方法, 作品自体やその製作過程で工夫したことを, 文章, 写真, 図などで説明。この用紙1枚に記入し, PDFに変換した後, web 提出フォームにて提出する。

個人・グループ名	松島 輝	大学名	静岡大学
作品名	園児・児童のバス内への置き去り防止用乗降カウントシステム	人数	1名

背景・目的

2022年9月、静岡県牧之原市において園児がバス車内に放置され、死亡する事故が起きた。国はこの事件に対して置き去り防止装置の設置を2023年から義務化した。そこで私は、この置き去り防止装置を教育に活かすことができると考え、以下のシステムを提案する。

開発したシステムの概要

公共交通機関での乗降動作をバスに乗り込んだ人数のカウントに使用する。また、この際に第三者の目線での管理を可能にするため、LINE Notifyにて乗車時、降車時に通知を送信することができる。

ICカードを一回タッチすると乗車人数にカウントされ、同じカードをもう一回タッチすると乗車人数からカウントされなくなる。登録したカードなら何人でもカウント可能である。

このシステムを用いることによってバス内にいる園児、児童など乗車人数を確認できることでバス内への置き去りを防ぐことができるほか、園児、児童に対してICカードを使う場合の公共交通機関での乗車、降車の方法について学ばせることができる。

開発したシステムの動作



①待機状態

メッセージと乗車人数を表示して待機している。



②タグの読み取り

乗車時に音声が鳴り、メッセージと共に乗車人数が増える。



③通知

LINEに乗車、降車の折に通知が来る。



④降車動作

乗車時と同様にタッチをすること音声と共にメッセージが表示され、乗車人数が減り、通知が来る。